

専門試験（心理）

[例題1] フラッシュバルブメモリに関する記述として妥当なのはどれか。

1. 適切な時期に自発的にタイミングよく、目的の行為を想起するような認知処理が必要とされる、未来に行くことを意図した行為の記憶である。
2. 視覚刺激がごく短時間提示されると、提示終了後もその刺激のイメージが実際にまだ提示されているかのように感じる現象である。
3. 過去のある瞬間に知覚していた対象が、明瞭に再現され、あたかも実際にその対象を知覚していると感じるような心的イメージ像であり、その像を眼で走査したり、組み立てたり操作することができる。
4. 種々の認知課題遂行中に一時的に必要な情報の保持や、そうした働きを支えるシステムである。
5. 衝撃的な出来事を初めて見聞きしたときの状況について、鮮明かつ詳細に想起される記憶である。

正答 5

[例題2] 次のうち推論の種類の一つである演繹的推論の例として妥当なのはどれか。

1. Aさんは、初めて訪れる国で、数人の陽気な人と話をして、「この国の人は陽気だ」と推論した。
2. B高校新聞部では、ランダムに選んだ50人の生徒に取材して得た情報をもとにして、生徒会長候補者の当落を推論した。
3. ある幼児が「おなかがすくと元気がなくなった」という経験から、「植物に水をあげないと枯れる」と推論した。
4. Cさんは「鉄は電気を通す」という法則を知っており、ある物体Xが鉄であることを知ると「物体Xは電気を通す」と推論した。
5. ある小学生が、生活経験で得た水圧と水流の関係に関する知識から、電圧と電流の関係について推論した。

正答 4